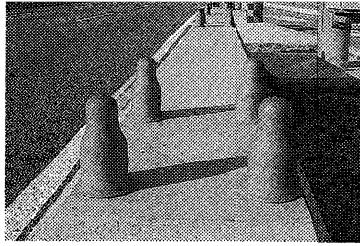


株式会社ツルガ

日刊建設工業新聞

(3) 2008年(平成20年)1月31日(木曜日)



トップ
・ナット
・キャップ
トキ
ボルト
防錆

高速道路向け開発

ツルガ軟質塩ビで安全性向上

ツルガ(大阪府東大阪市、敦賀伸吾社長)は、高速道路向けのボルト・ナット防錆キャップ「TSキャップ」の「写真」を開発し、2月1日から出荷を開始する。TSキャップは軟質塩化ビニールを材料に使用した製品で、ボルト・ナットに密着し外れ難いほか、表面が柔らかく落下しても事故を誘発する可能性が低いことが特色だ。安全性を兼ね備えたことから、従来の硬質プラスチック製のキャップでは使えなかった高速道路の照明柱、アンカーボルト部分などでの利用を可能にした。

一般に使われている硬質プラスチック製ボルト・ナット防錆キャップは、劣化して外れやすくなる上、外れて落下した場合に破片が飛び散るなど事故につながる恐れがある。このため、高速道路では使用できず、ボルト

ト・ナットがむき出しのままの状況が続いているという。

TSキャップは、ボルト・ナットを型取りして作製するため、色彩、サイズ、形状のカスタマイズが可能。小ロットでの注文にも応じる。サイズはM12×M24用・厚さ1・5×2・0ミ。形状は▽ボルトキャップ▽ナットキャップ▽ダブルナットキャップの3種類を用意した。

計測サービス開始

独カリダス社製の3次元レーザースキャナー活用

大浦工測

建設工事測量大手の大浦工測(東京都豊島区、大浦章社長)は、3次元レーザースキャナーを活用した建築・土木分野での計測サービスを2月から開始する。建物、構造物の劣化診断などを通じて、

今後の維持修繕需要に 대응。計測サービスには、ドイツのメーカー、カリダス社製の機器を活用。顧客の要望に応じて、機器販売も手掛ける。

地形測量やプラントの現況測量などに利用される3次元レーザースキャ

2008年1月31日、日刊建設工業新聞に「高速道路用TSキャップ」が掲載されました

--	--	--	--	--	--	--	--